

評価基準	評価項目	評価内容	評価ランク (質値)			事例 A 県公共関係 産業廃棄物 一般廃棄物 最終処分場	事例 B 県公共関係 産業廃棄物 一般廃棄物 最終処分場	事例 C 自治体 一般廃棄物 中間処理 施設	事例 D 県公共関係 産業廃棄物 一般廃棄物 複合 処理施設	事例 E 自治体 一般廃棄物 中間処理 施設	事例 F 自治体 一般廃棄物 最終処分場	事例 G 自治体 一般廃棄物 最終処分場
			A (1.0)	B (0.5)	C (0.10)							
生活環境	景観保全機能(変化のインパクト)	立地による周辺地域からの景観変化へのインパクト	小さい	中位	大きい		○	○			○	○
	生活圏近接度	候補地周辺集落との距離	500m以上	500~100m	100m未満	○		○		○	○	○
	周辺民家との距離	候補地に最も近い民家との距離	500m以上	500~100m	100m未満	○	○	○			○	○
	周辺の学校・病院等との距離	候補地周辺の学校・病院等との距離 (学校、保育園、幼稚園、病院、福祉施設等)	1000m以上	1000~500m	500m未満	○		○	○	○	○	○
	同一地区における周辺公共施設の数	同一地区内における公共施設の数 (公共施設：清掃工場、下水処理場、火葬場)	無	1つ有	2つ以上有			○	○			
	下流側上水道水源(表流水)との距離	下流側の上水道水源(表流水)との距離	無・3km以上	1~3km	1km未満	○					○	○
自然環境	下流河川類型	下流側河川の環境基準値を定めた水域類型	B	A	AA						○	○
	周辺土地利用	周辺の土地利用現況	荒地	農地	山林				○	○	○	○
	候補地土地利用	候補地の土地利用現況	荒地・開発済	農地	山林	○					○	○
	地盤条件	候補地の地盤状況	岩	礫	砂・泥	○	○			○		
	下流側上水道水源(地下水)との距離	下流側の上水道水源(地下水)との距離	無・3km以上	1~3km	1km未満	○	○	○		○		
	周辺の貴重動植物	既存資料による周辺の貴重動植物への影響	低い	中位	高い	○	○	○				
土地取得	土地所有区分	候補地の公有地・私有地・混合の所有区分	公有地	公有私有混合	私有地			○			○	○
	農業振興地区	農用地区の有無	農用地区外	農用地区	-	○					○	○
災害危険	土地保全機能(土砂災害・浸水被害)	土地の土砂災害・浸水被害発生の危険性	低い	中位	高い	○	○	○	○	○	○	
	造成による災害危険性	造成による災害発生の危険性	低い	中位	高い						○	○
	活断層との距離	推定される活断層との距離	500m以上	500~50m	50m未満	○	○	○				
施工性	造成規模	造成の形態による容易性・施工規模	小さい	中位	大きい	○		○			○	○
	取付道路施工規模	公道からの取付道路建設の必要性・容易性	小さい	中位	大きい	○	○	○			○	○
	雨水排水路整備規模	下流側排水路の有無と改修整備の必要性の有無	小さい	中位	大きい						○	○
	地盤による施工性	地盤状況による施工性	小さい	中位	大きい	○					○	○
建設 運営管理	アクセス道路の改修規模	搬入・退出ルートとなるアクセス道路の問題点	小さい	中位	大きい						○	○
	アクセス距離	関連施設からのアクセス距離	5km未満	5~10km	10km以上				○	○	○	○
給水条件	水源の確保	用水の給水条件	容易	中位	困難			○			○	○

他の事例における上記以外の比較評価項目	評価内容	本組合における対応	事例 A	事例 B	事例 C	事例 D	事例 E	事例 F	事例 G
法規制該当事項及びその対応	農地転用の他、林地開発・埋蔵文化財等	林地開発・埋蔵文化財は未考慮	○		○				
跡地利用性	埋立後の平場面積や周辺レクリエーション施設の有無	未考慮	○					○	
経済性	施設・搬入道路等の工事費	施工性として定性的に考慮	○		○				
農地までの距離	下流の農地までの距離	左記評価内容では未考慮		○					
漁業権	漁業権の有無	未考慮		○					
搬入道路に隣接する住居等戸数	隣接する住居戸数による評価	搬入車両台数が少ないため未考慮		○					
処分場施設配置	設計図より障害・懸案事項の有無を評価	設計していないため未考慮		○				○	
車両走行による環境負荷	年間CO2排出量より評価	アクセス距離として評価		○					
保安林	周辺の水源かん養保安林の指定	ネガティブマップ(保安林)で評価			○				
保安林	土砂流出防備保安林の指定	ネガティブマップ(保安林)で評価							
一定範囲内の住居戸数	0~500m, 500~1000mでの戸数	集落や周辺民家との距離で評価			○				
宅地化の傾向	周辺の用途指定状況(宅地化)を評価	ネガティブマップ(都市計画)で評価			○				
アクセス道路の生活に与える影響	生活道路との重なりを評価	搬入車両台数が少ないため未考慮			○	○			
アクセス道路の通園・通学路に与える影響	通園・通学路との重なりを評価	搬入車両台数が少ないため未考慮			○				
埋蔵文化財	有無・位置関係	未考慮			○		○		
指定文化財・観光拠点	有無・位置関係	ネガティブマップ(史跡・名勝)で評価			○	○	○		
ふれあい活動の場	自然公園・ピオトープの位置	ネガティブマップ(自然公園)で評価			○				
都市基盤整備状況	道路・上下水道整備	ネガティブマップ(道路)で評価 下水道は未考慮				○	○		
まちづくり	将来のまちづくりとの整合性	ネガティブマップ(都市計画)で評価				○			
電源確保	電源確保の難易性	未考慮						○	○
自治体土地 利用調整基本 計画	土地保全機能	災害危険性評価						○	
	水資源保全機能	水資源保全機能						○	
	生態系保全機能	生態系保全機能						○	
	景観保全機能	景観保全機能						○	

※他の事例では、各々別途実施した詳細な候補地調査内容、検討事項に併せて評価項目を設定しているケースが見られる。